

平成15年度 全国中学校体育大会
第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		予選Lリーグ	
日時	平成15年8月 22日 (金)		12:10 ~
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Dコート 第3試合
結果	石井 (徳島)	39	愛宕 (北海道) 44
主審	石原 廣美 (山梨)		副審 渡部 睦 (新潟)

【個人トータル表】

石井(徳島)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	鈴鹿 さおり	13	3	2	0	2
5	坂東 智沙	4	0	2	0	5
6	岩野 咲	2	0	1	0	2
7	芳川 妙花	10	2	2	0	2
8	小川 みどり	10	0	5	0	5
9	泊 咲織	0	0	0	0	3
10	米澤 麻依	0	0	0	0	0
11	大西 由記					
12	仁木 菜葵					
13	中村 百花					
14	新谷 仁美					
15	坂口 尋江					
16						
17	清水 里衣子					
18	長地 麻衣					
	合計	39	5	12	0	19

愛宕(北海道)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	渡部 紋子	9	2	1	1	2
5	寺尾 夕貴					
6	矢吹 小夏	7	2	0	1	1
7	三本 弥生	4	0	1	2	1
8	菅 愛子	1	0	0	1	0
9	小林 真冬	12	2	2	2	2
10	鈴木 愉佳	0	0	0	0	0
11	合田 早希					
12	土屋 小雪					
13	横山 恵理佳					
14	中塚 史恵					
15	堤 彩華					
16	栗林 未紗子					
17	木下 菜美					
18	小山 さおり	11	0	4	3	0
	合計	44	6	8	10	6

【戦評】

1勝をあげて是非とも決勝トーナメントに駒を進めたい四国ブロック2位徳島石井中と、地元の声援を受けて活躍が期待される北海道ブロック2位旭川愛宕中の対戦。

1クォーター、愛宕ハーフマンツードィフェンス、石井スリークォーターからの1-2-2ゾーン、ひいて2-3ゾーンディフェンスでスタート。立ち上がり、両チームともにイージーミスが目立ち、無得点状態が続く。石井は愛宕のミスを誘い、1分半過ぎ先制点をあげる。石井のディフェンスを攻めあくむ愛宕だが、石井ディフェンスをカウンターに持ち込み、点を重ねる。第1クォーター14対9で終える。

2クォーター、攻めきれない石井中は3Pを連発し、リバウンドボールを速攻に持ち込まれ、点差が広がる。一時、19対9まで離れたが、ハーフライン際のパスをインターセプトし、徐々に差をつめ、前半21対16、愛宕リードで折り返す。

3クォーター、石井中はひいて1-3-1ディフェンスに変え、高い位置からプレッシャーをかける。愛宕は激しいマンツーマンディフェンスで石井に楽に攻めさせない。愛宕リードのままゲームが進んだ。終盤石井は3Pを立て続けに決め1点差、残り40秒で愛宕タイムアウトを取るがそのまま両チーム無得点、愛宕1点リードで終える。

4クォーター、愛宕 7三本のポストプレーやリバンドで、試合の流れを握る。石井は良い形でシュートができず攻めあぐねる。残り2分40秒石井はタイムアウトを取り、守りを2-2-1オールコートゾーンに変える。愛宕のパスをねらい、徐々にその差をつめ、残り2秒、7の3Pで石井同点に追いつき延長に持ち込む。

延長、4鈴鹿に球を集めて点と取りたい石井だが、愛宕の好ディフェンスにさえぎられる。愛宕は1分30秒の6矢吹の3Pを皮切りに、石井のファールを誘い、3人連続フリースローで8点リード。石井も7芳川の3Pで反撃するが逆転にはいたらず、44対39で愛宕が勝利した。

大きい選手のいない石井中だが、全員で守りを頑張る粘りのあるチームだった。

高橋紀子(江別中央)

【リーグ戦績】

	大治 (愛知)	愛宕 (北海道)	石井 (徳島)	勝敗	順位
大治 (愛知)		()	(20 - 15 21 - 6 14 - 7 22 - 11)	1勝 0敗	位
愛宕 (北海道)	()		(14 - 9 7 - 7 6 - 10 9 - 10 8 - 3)	1勝 0敗	位
石井 (徳島)	(15 - 20 6 - 21 7 - 14 11 - 22)	(9 - 14 7 - 7 10 - 6 10 - 9 3 - 8)		0勝 2敗	位